

市議会だより

大月市

平成 28 年 8 月 31 日発行 No.143

特集 看護師×市議会



CONTENTS

- ・特集
（中央病院について看護師さんと
語る） P. 2～
- ・第 4 回定例会・第 5 回臨時会
（主な議案の内容） P. 4～
- ・代表質問・一般質問 P. 7～
- ・議会日誌 P.14

特集

中央病院について 看護師さんと語る

中央病院看護師 × 大月市議会

中央病院の改善を目指し、患者さんの一番身近な存在である看護師さん達の率直な感想やご意見をお聞きしたところ、不安を感じながらも懸命に努力する看護師さんの姿がありました。

情報を共有し危機感をもって他に先駆けた提案
をする看護師さんであってほしい 【市議会】

×

危機感を持って市民のために！

厳しい状況の今だからこそ私たちにできること
から始めています 【看護師】



Q 新病棟ができましたがいかが
ですか。

・工事中から楽しみにしていましたが、綺麗になりハードが整ったのでこれからは私たちが頑張ってソフトの整備をしていかななくてはならないと思っています。

・新しくなり新卒の看護師も順調に入って来てくれています。

・透析室の機械も新しくなり非常に使いやすく業務改善ができました。また、増床したので受け入れ人数もふえました。しかしまだ、待機患者さんがいますので、大月市の患者さんはできるだけ受け入れたいです。

・木曜日以外は、外来を見ながら透析の患者さんも見ているので、透析室にも常勤の医師が欲しいです。

Q 透析室にテレビやラジオの設置を望む声があるが。

・先日、アンケートを実施したところ、6割の患者さんが望んでいることがわかりましたので、設置に向けて検討をしています。
(8月22日からテレビが見られることになりました。)

Q 現在は、どんな取り組みをしていますか。

・何をして行ったらいいのかというのを皆で考えて「こうやればコスト削減とか請求漏れが無くなるよね」とか、皆でチームとしてチェックをしています。また、医師の数が少なく仕事量がかなり多い状況ですので、医師の負担を減らせるよう指示を待つのではなく、自分達で考え行動するよう心掛けています。

Q 順番を呼ぶ時に名前ではなく番



号で呼ぶ病院があるが、プライバシーの確保という側面からも検討してほしいが。

・高齢者が多く、番号でお呼びしても気づかない方も多いのではないかとという意見もあり、現状では名前で呼ぶようにしています。

Q 番号で何回か呼んで気づかない場合は名前で呼ぶような病院もあるが。

・内科の一部しか呼び出し番号案内表示板がない現状では、名前で呼ぶことと番号で呼ぶことを混在させることとなり、混乱を招きかねないので、現状の設備では厳しいですが、要望をしています。

Q 先日の新聞で中央病院の経営状況が報道されましたがどう思いましたか。

・毎年、赤字だという認識は勿論ありましたが、新聞にでた数字を見て、その厳しい状況を再認識しました。若い職員さんは驚きと同時に職場として考えた時に不安を感じていることは確かです。

・新聞に載った時はショックでし

た。親戚や家族が仕事を続けていけるのかと心配してくれることもありました。

・私も大月市民です。未来につけを残さぬよう厳しい状況の今だからこそ、できることから始めようと声を掛けあっています。

・私は民間の病院にいたことがありますが、民間と公立の違いを大きく感じています。先程「経営状況を職員間で共有を」という話がありました。やはり職員一人一人に危機感を如何にして持たせるかということが大きな課題であると思います。

・病院のために大月市が潰れても困りますので、職員がもっと危機感を持って市民のためにという意識を持つようにレクチャーをしていくことが大切だと思います。

公立病院はほとんど赤字であります。それがいい訳ではありません。今日の皆さんの話の中から危機感を感じながら業務改善に取り組んでいることも分かりました。議会として皆さんの意見を聞く機会をもっと早く設ければよかったと反省もしているところです。

本日は本当にありがとうございました。共に頑張っていきたいと思います。

大月市議会第4回定例会／第5回臨時会

こんな事が決まりました。

6月7日～6月22日（16日間）／7月29日（1日間）

第4回定例会の議案



市長提出

- ・ 条例案件……………1件
- ・ 補正予算案件……………2件
- ・ 人事案件……………5件
- ・ その他の案件……………5件

議会提出

- ・ 選挙……………2件

主な議案の内容

動産購入

◎消防ポンプ自動車（CD-1型）購入

火災現場での消火活動の中心として活躍し、目にする機会が多い消防ポンプ自動車です。ポンプ耐用年数が16年のところ、23年が経過して機能低下があるため、大月市消防本部で1台購入



する。指名競争入札により、購入相手方が有限会社中村ポンプ工作所と決定したことから、議会にはかり承認されました。

予算（補正）

◎平成28年度 大月市一般会計補正予算（第1号）

・ 地域密着型介護老人福祉施設「サンコート大月サテライト」の新築工事に対する事業費補助金が県からあり、介護施設整備等補助事業（1億4千万円余）が決まりました。

・ 一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として助成を行っています。今年度は寺向自主防災会の申請が認められ、折り畳み式リヤカーや発電機等の購入にかかる資金の一部が助成されます。

（50万円）

委員会審査の様子

●総務産業常任委員会

消防本部

消防ポンプ自動車の入れ替えに当たり、廃車車両の下取り等について

Q 車両の入れ替えということですが、下取りがされたのか。

A 業者の方と下取りの交渉も致しましたが、ポンプ車につきましては、アジア地域への寄附ということで送る車もあるのですが、今回の車は古さから言って、それに該当しないということ、そちらの方も無しという形になりました。下取りにつきましても、業者との交渉も致しましたが、やはり古いということ、その辺を考えますとかえって足が出てしまう

と業者の方からも聞いております。

Q この間まで動いていたものが、古いからゼロとはちよっとおかしいと思うのですが。

A 車両自体は入れ替えるまで動いていたという形になりますけれど、大きな修繕を致しながら使っていました。

それから消防車のポンプの耐用年数、ポンプ部分ですけれど、こちらの方は全国的に平均しますと16年というのが耐用年数ですので、それ以上を超えて使用するというのは、その後の責任が持てなくなるということが、業者の方にもあるようです。

● 社会文教常任委員会

学校教育課

防犯カメラの設置状況について

Q 市内の中学校2校、小学校5校で防犯カメラが付いているところは

A 防犯カメラにつきましては、現在設置されて

いる学校はありません。

Q 早急に小中学校くらいは設置すべきだ。

A 今後、検討してまいりたいと思います。

学校教育課

コミュニティ・スクールについて

Q 初狩小学校からスタートさせるとのことだが、コミュニティ・スクールは学校運営協議会はどういう形になるのか。

A 初狩小学校では初狩の公民館長さん、笹子町



政運営委員会であったり、民生児童委員さんであったり、学校応援団の方々、PTAの方々、それから学校の教職員、そして教育委員会というメンバーで構成して行きます。

第5回 臨時会の議案

市長提出

・補正予算案件…2件

予算（補正）

◎平成28年度 大月市下水道特別会計補正予算（第1号）

平成28年度中に下水道経営戦略を策定する必要があることから、臨時会で補正予算を議決しました。

（594万円）



おめでとう
ございます。

全国市議会議長会・山梨県市議会議長会各会長より、議員勤続表彰を次の方々が受けられました。

◆議員勤続20年表彰



市議会議員 相馬保政氏



市議会議員 小原丈司氏



市議会議員 奥脇一夫氏



市議会議員 西室 衛氏

全国市議会議長会の会長より、感謝状を次の方々が受けられました。

◆全国市議会議長会 評議員

◆国と地方の協議の場等に関する特別委員会委員

平成28年6月定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● 欠席=欠) ※西室 衛 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原	大石	相馬	奥脇	古見	小泉	小原	山田	鈴木	小林	藤本	相馬	鈴木	結 果
			剛	源廣	保政	一夫	金弥	三雄	丈司	善一	章司	信保	実	力	基方	
条例	第 49 号	大月市税条例等中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
補正 予算	第 50 号	平成 28 年度 大月市一般会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	第 51 号	平成 28 年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算（第 2 号）														
その 他	第 52 号	市道の路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	第 53 号	動産購入の件（消防ポンプ自動車購入）														
	第 54 号	動産購入の件（情報系および教育系仮想化環境更新用機器購入）														
	第 55 号	動産購入の件（自治体情報セキュリティ強靱化対策用機器購入）														
	第 56 号	契約締結の件（大月短期大学新校舎建設工事）														
選挙	選挙第 1 号	奥山外四恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選
	選挙第 2 号	深桂恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙														
人事	第 57 号	岩殿山外 5 恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	第 58 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件														
	第 59 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件														
	第 60 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件														
	第 61 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件														

平成28年7月臨時会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● 欠席=欠) ※西室 衛 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名	萩原	大石	相馬	奥脇	古見	小泉	小原	山田	鈴木	小林	藤本	相馬	鈴木	結 果
		案 件 名	剛	源廣	保政	一夫	金弥	三雄	丈司	善一	章司	信保	実	力	基方	
補正 予算	第 62 号	平成 28 年度 大月市一般会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	第 63 号	平成 28 年度 大月市下水道特別会計補正予算（第 1 号）														



市政を問う

6月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、6名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

(1) 鈴木章司議員 (清風会 & 公明) 8 ページ

- ① 移住相談者への対応は
- ② ふるさと教育の今後の取り組みは

(2) 小原丈司議員 (山と川の街大月) 9 ページ

- ① 常勤医師確保への取り組み状況は
- ② 学校の誘致や移設を計画しているが、実施可能か

(3) 小泉二三雄議員 (自由民主党) 10 ページ

- ① 市道に架かる橋梁の数とその耐震性は

(4) 藤本 実議員 (日本共産党) 11 ページ

- ① 断水対策に市が積極的に対応すべきだ
- ② 国保税均等割の引き下げを

● 一般質問

(5) 鈴木基方議員 12 ページ

- ① 旧浅利学区の避難場所と防災計画配布に関して
- ② 木質バイオマス発電所の放射能などの問題は

(6) 小林信保議員 13 ページ

- ① 医師のためにふるさと大月応援寄附金の活用を
- ② 猿橋の遊覧船事業の今後の予定は

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録（8月下旬発行予定）を図書館及び市のホームページ (<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>) で閲覧することができます。

代表質問

清風会&公明
鈴木 章司

Q 移住相談者への対応は

A 総合相談窓口を市役所の第2庁舎4階に設置

問 やまなし暮らし支援センターと連携を図り、移住相談者への対応を強化するため、市役所内に総合相談窓口を開設することですが、いつ頃、どのような体制を考えているのか。

答 市長

移住・定住に向けた相談窓口の設置については、移

住者をふやし、より一層大月の魅力を発信していくために必要であると考えています。このため、相談窓口は市役所第2庁舎4階に置き、本協議会の2名の事務局員と、新たに非常勤の相談員2名を加え、現在の協議会の機能に移住・定住に関する機能を付加した交流・移住・定住の相乗効果が図れる体制で、7月15日の開設を目指しています。

また、7月23日にやまなし観光推進機構の主催により、都留市、上野原市とともに実施する山梨県東部エリアの空き家マッチングツアーにつきましても、この相談窓口において進めてまいります。



移住相談窓口

Q ふるさと教育の今後の取り組みは

A 3つの塾の実施と教育支援室の充実が不可欠

問 今後、ふるさと教育はどのような取り組みをして行くのか。

答 教育長

今後取り組みふるさと教育の内容は、1つ目は、大

月仕事塾です。地域の皆様にご協力していただき、地域の企業や商店などで職場体験学習を行うキャリア教育の取り組みを、今年度内に実施していく予定です。2つ目は、大月家庭塾です。家庭教育の大切さを啓発しながら、家庭教育の支援と相談体制の充実を図る取り組みで、来年度をめどに進めていきます。3つ目は、大月楽習塾で

す。学習に向き合えない子や学習環境が整わない子どもを対象にした学習支援と居場所づくりの取り組みで、同じく来年度をめどに進め、ふるさと教育の推進を図ってまいります。

また、業務を遂行するため教育支援室の充実が不可欠ですので、教育支援室連携会議による情報共有を行いながら支援室運営にも力を注いでいきたいと考えています。

代表質問



山と川の街大月
小原 丈司

Q 常勤医師確保への取り組み状況は

A 他の大病院に医師派遣を依頼し、専門業者等も活用している

問

中央病院の常勤医師確保に他の大病院への働きかけとあるが、あてはあるのか。

また、常勤医師確保に医師派遣の専門業者への依頼とあるが、具体的な内容は。

答 病院事務長

当院は、内科及び整形外科の常勤医師確保が喫緊の課題として、医師の人事を全面委任しています。東京女子医科大学病院にも相談した上で、小児科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科口腔外科などの診療科

に非常勤医師を派遣していただいています。山梨大学医学部附属病院へも常勤医師派遣の働きかけをしておりましたが、さらに院長や副院長などの先生方がそれぞれの人脈を頼りに他の大病院や教授へ個別に医師派遣のお願いをしています。

内科、整形外科の医師につきまして専門業者へ依頼をしています。具体的には、採用契約及び広告掲載契約の2つの方法で募集を行っています。

現在までの契約の相手方は、株式会社メディカル・プリンシプル社、株式会社リクルートメディカルキャリア、エムスリーキャリア株式会社、株式会社メディウエルの4社となっており、いずれも5月に契約を締結しています。

広告掲載契約では、現在、専門業者の株式会社リンクスタッフと4月に広告掲載の契約を締結し、広告掲載期間を12カ月間とし、43万2,000円を支払っております。

Q 学校の誘致や移設を計画しているが、実施可能か

A 桂台地区の皆様のご理解が得られるよう慎重に進める

問 健康科学大学介護専門学校

学校の誘致ややまびこ支援学校の移設を計画しているが、実施することが出来るのか。

答 産業建設部長

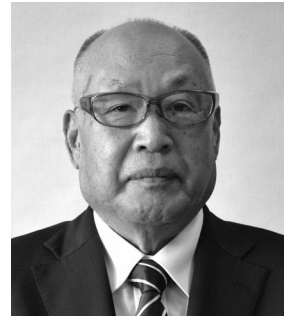
桂台地区は、大部分が低層住宅の良好な環境を守るための地域である。第1種低層住居専用地域となっており、南側の一部が第1種中高層住居専用地域に指定されております。

第1種低層住居専用地域には、建築物の用途制限が定められており、小規模な店舗や事務所を兼ねた住宅、

幼稚園や小中学校、高校、老人ホーム等を建てることは可能ですが、工場や倉庫、遊戯施設、また専門学校、大学や病院を建てることはできません。

この計画案の誘致団体や整備計画、また用途地域の変更につきましては、今後、桂台の皆様のご理解を得られるよう、ご意見やご提案を取りまとめた上で慎重に進めてまいります。

代表質問



自由民主党
小泉 二三雄

Q 市道に架かる橋梁の数とその耐震性は

A 市道229橋のうち25橋が耐震済み、率にしますと約11%

問 市内一円の市道に架かる橋梁と国道に架かる橋梁の数と、その橋梁全ての耐震性は確保されているのか。

また、市内に救急車両や消防車両等が進入できない箇所はあるか。

答 市長

本市が市道として管理する橋梁であります。現在229橋であります。国や県が管理する国道の橋梁は87橋、県道については51橋となっています。

また、そのうち耐震性能を有する橋梁は市道229橋のうち25橋、率にいたしますと約11%。国道につきましては、71橋、約82%、県道は6橋、約12%となっています。

本市におきましては、昨年度、市道の橋梁耐震化工事を4橋実施したところであり、今後も継続して対策を進めてまいります。

また、本市は、地形上、国道、県道から枝線に入りますと、大型車の進入は非常に困難になります。消防本部では、これらの状況を踏まえて、車両の出動計画を策定しており、昨年4月にオープンいたしました山梨県東部消防指令センターの指令台には、この計画のデータが組み込まれ、出動する場所により自動的に出動車両が選択されるシステムが導入されています。

現在、どの集落へもいずれかの車両が進入できることとなっていますが、救急車両におきましては年々大型化されていまして、各戸

までの進入が困難な場所が増加傾向にあり、これらの事案については隊員を増員して徒歩での活動を行っているところであります。

再質問

問 今なお、救急車両、また消防車両等が進入できないだけでなく、住民生活に不可欠なごみ収集車両や宅配車両等が進入できない地区が存在しています。

ある集落では、進入してもUターンができないため、仕方なくバックで引き返すしかないという箇所もあります。やはり同じ大月市にありながら、このような生活の格差があつてはならないと私は強く感じています。この現状について、いかがお考えですか。

答 建設課長

道路が狭いことは、災害時だけではなく、日常生活にも非常に不便を感じ、支障を来していると思います。整備の重要性は非常にあると思います。そのような地区においては、地域の皆様ともう一度十分に協議を行い、議員の皆様の方をかりる中で、これらの解消をぜひ図っていきたいと考えております。

その他の質問

国道バイパスについて

問 大月バイパスの進捗状況は。

問 初狩バイパスはどのような状況になっているのか。

Q 断水対策に市が積極的に
対応すべきだ

A 水道企業団の計画に基づいて地震に強い水道をめざす

南海トラフ地震の発生が近づいているとされ、

対策の強化が求められています。断水対策については、水道企業団からは経営状況が厳しいことから、構成市である大月市と上野原市が積

極的に対応し、責任を果たすべきです。

答
市長

東部地域広域水道企業団
の平成28年度予算におきま
して、大月市内配水管詳細
設計業務委託及び国庫補助

事業施設整備計画業務委託を予算計上しており、財政的に厳しい中でありましても、同企業団の水道ビジョンに基づきまして、業務の効率化、施設の統廃合等を進め、経営の健全化を図るとともに、地震に強い水道を目指し、老朽管等の更新を計画的に進めてまいりたいと考えている状況であります。

再質問

問 耐震化を加速する方針を明確にすべきです。

答
地域整備課長

構成市が財政措置を含めた積極的な対応をすべきだというご意見ですが、上野原市、そして企業団、両者と協議の上、今後の方針を検討してまいりたいと思います。

Q 国保税均等割の引き下げを

A 1人2千円の引き下げで
約1千万円

大月市の国保は、平成22年、23年度に保険税の連続値上げが行われ、基金が底をついた状況

00万円まで積み上げています。今緊急に問われているのは、格差と貧困の広がり、厳しい生活を余儀なくされている世帯への配慮です。特に子どもの貧困が社会問題になる中で、子どもが多いほど保険税が重くなる均等割については、子育て支援の観点からも早急に対応が求められています。仮に均等割を2、000円引き下げた場合、どのくらいの税収減が見込まれるでしょうか。

答
市民課長

1人当たりの均等割を2000円引き下げた場合、平成28年度の調定予定額に對して約1、000万円の減額となります。平成30年度から国保の財政運営主体が都道府県となり、市町村が県に国保事業費を納付することになります。国保税率の見直しについては、これらを見据え慎重に検討したいと考えています。



鈴木 基方

Q 旧浅利学区の避難場所と 防災計画配布に関して

A 浅利川対岸の駐車場につ いては、既に工事が完了

問 浅利・西奥山地区で4
月の回覧で指定されて
いた避難場所が確保で
きている確認がとれて
いるのか。

答 総務管理課長

浅利・西奥山地区で、4
月の回覧で指定された避難
場所となっている場所が確
保できているか、確認がと
れているのかとのことであ
りますが、旧体育館敷地に
つきましては、現在まだ建
物がありますが、7月から

工事に着手し、建物を解体、
駐車場とする計画と聞いて
います。

また、浅利川対岸の駐車
場につきましては、既に工
事が完了しています。

次に、防災計画配布に関
して、要望を確認というの
はどうかということについて
です。

特に、市民に周知すべき
事項につきましては、その
都度、あるいは折に触れ、
市広報や回覧、あるいは全
世帯配布等のチラシにより
情報提供をしています。

また、計画書全文につき
ましては、市のホームページ
に掲載していますので、
必要な部分をいつでもプリ
ントアウトすることが可能
となっております。これらの
ことから、配布を希望し、
本当に活用していただける
自治会への配布としたもの
です。

Q 木質バイオマス発電所の 放射能などの問題は

A 基準を超える放射性物質 は受け入れない

問 COの問題に関して、
また、木質チップにつ
いては、どのようなも
のが入ってくるのか、
はつきりわからない中
で、放射能などの問題
に関しては、どのよう
にお考えか。

また、基準を超える放射
性物質については、受け入
れないこととなっております
ので、ご理解をお願いし
たいと思います。

答 市民課長

一酸化炭素につきまして
は、発生が想定をされてい
ないという説明を受けてい
ます。

万が一、煙突内のセンサ
ーに一酸化炭素が感知され
た場合には燃焼を停止する
システムでありますので、
外部に流出しないこととな
っています。

一般質問



小林 信保

Q 医師のためにふるさと大 月応援寄附金の活用を

A 常勤医師の確保や待遇改 善にも活用できるよう、 検討したい

問 医師修学資金貸与制度の導入をすべきでは。また、医師の働き甲斐を高めるためにふるさと大月応援寄附金を活用し特別報酬を出すべきであると思うが。

答 病院事務長

この貸与制度は、常勤医

師を確保するため、修学資金を貸与し、一定の勤務により返済を免除するものがあり、山梨県内では、県に年額60万円から156万円を貸与する制度があります。この貸与額を増やしますと魅力ある貸与制度になるのではないかと考えておりますが、医師が病院に勤めるためには6年制の医科大学

を卒業し、医師免許を取得した上で、2年間の卒後初期研修、3年間の新たな専門医制度による研修を経なければなりません。

現在、内科及び整形外科の常勤医確保が喫緊の課題です。貸与制度は、今年度予定している市立中央病院改革プラン2013の改定にあわせて検討してまいりたいと考えております。

また、現在の当院へのふるさと大月応援寄附金の事業指定は、中央病院施設・医療機器整備事業となっておりますので、多くの患者さんにかかわるような施設や医療機器の整備に活用したいと考えております。

しかしながら、医療機器などのハード面のみならず、人を育てるソフトの充実も課題となっているのは事実です。今後はふるさと大月応援寄附金を活用し常勤医師の確保や常勤医師の待遇改善にも活用できるように、検討してまいります。

Q 猿橋の遊覧船事業の今後の予定は

A 隊員が思い描く活動ができるよう、できる限りの支援をしたい

問 猿橋の遊覧船事業の今後の予定は。

の支援を行ってまいりたいと考えております。

答 産業建設部長

猿橋遊覧船事業には、多くの方々から期待を寄せられており、ご支援をいただく中で、大変なにぎわいを見せております。このような一連の流れが、まさに地域おこし協力隊制度が求めているものであり、これからの活動にも大きく期待を寄せているところです。

市としては、隊員の自主、自発的な活動を支援していくという立場をとっておりますので、遊覧船の本格運営など隊員が思い描く活動ができるよう、できる限り



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。